

編集室

「学生生活実態調査報告書」01年度版によると、サークル加入率はほぼ5割です。4年前より最近は少し上向きではないでしょうか。

そんなサークルの新歓活動の泣き笑いを特集しました。新人記者が一斉に取材にあたりました。一度で取材がうまくいったサークルもあれば、2度3度出向いたり。初取材の「泣き笑い体験」でもあったのですが、一様に「丁寧な話を聞かせてもらった」と感激の面持ちでした。中大生同士の「通いあう心」を熱く感

じたのかもしれませんが。

かつて、駿河台時代は「サークル？ 運動はしているけどね」という学生も多かった。「スポーツじゃない、学生運動を」という具合で、時は「学生反乱」の季節でした。そんな70年代論を、中尾秀博文学部教授が市民公開講座で展開しています。甦るあの時代——東大・安田講堂事件は69年。籠城の学生が残した壁書きにこんな詩がありました。

「ハダシデウミベヲハシリタイ」
現世代は日々のケータイで、どんな詩をやりとりしているのでしょうか。得意の絵文字つきで。

(広報課 田中紘太郎)

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2005

夏季号

2005年(平成17年)7月1日発行 No.192

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

広報課 ☎0426-74-2146

印刷

泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141